

高原の初夏を満喫

6月8日と9日の2日間、「くずまき高原牧場まつり」と「平庭高原つつじまつり」が、16日には「まちなか新緑まつり」が開催されました。まつり期間中は青空に恵まれ、町内外から訪れた家族連れなどが、高原の新緑を堪能しました。



庭高原 平高

つつじまつり

赤と緑の彩りに魅せられる



見ごろを迎えたつつじ(上)、棒パン作りに挑戦する家族(左下)、森の宝さがしでくずまきワインをゲット!(右下)

平庭高原つつじまつりは、森のこだま館で行われました。町内外から訪れた約1700人は、高原に広がるつつじの群生や白樺林の鮮やかなコントラストを楽しみました。棒パン作りや押し花などの体験コーナー、地産地消レストランのランチバイキング、森の宝さがしなど、子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん。森の館ウッドイでも、くずまきワインの試飲や写真展などが開催され、特産品を買い求める家族連れでにぎわいました。

くずまき 高原

牧場まつり

約3万人の人出でにぎわう



土谷川の「くずまき高原牧場まつり」会場にはたくさん屋根が立ち並び、牛の丸焼きやソフトクリーム、地元自治会などが朝早くから準備した郷土食、三陸復興支援ブースでは海産物や特産品などが売り出され、山と海の幸を堪能しました。

IBCラジオ「大塚富夫のタウン」の生中継も行われ、総合司会を務めたモウモウブラザーズがまつりの盛況ぶりを町内外へ発信しました。

特設ステージでは、くずまき高原牧場が歌の舞台になっている「風の丘」の大沢桃子歌謡ショーや、馬淵川源流太鼓、盛岡吹奏楽団などの演奏が響きわたりました。

牛の乳しぼり体験や羊毛刈り体験、干し草の中から景品を探す「ちびっこ宝探し」など、子どもが楽しめるイベントも盛りだくさん。会場内のあちらこちらでは、大道芸人が得意技で来場者をびっくりさせていました。

①大道芸の技と話術に会場は大歓声②力強い響きの馬淵川源流太鼓③大盛況の屋台④吉ヶ沢小学校は手作りのストラップなどを販売⑤大人気のちびっこ宝探し⑥多くの親子が羊の毛刈りにチャレンジ⑦観客を魅了した大沢桃子歌謡ショー⑧IBCラジオ「タウン」生中継で情報発信するモウモウブラザーズと大塚富夫アナウンサー

まちなか

新緑まつり

まつりでまちなか活性化



恒例のくずまき商品券入りお菓子まき



へっちょこだんご早食い大会

まちなか新緑まつりは、JRバス葛巻駅構内で行われ、町内外から約2000人が訪れました。へっちょこだんご300食が無料で振る舞われたほか、580グラムのへっちょこだんご早食い大会など、趣向を凝らしたイベントが盛りだくさん。会場では復興支援として陸前高田市の海産物を販売スペースやゲスト・よしもと岩手県住みます芸人「アンダーエイジ」ステージショーも開催され、会場中の笑いをさらっていました。